

No.123  
2018/8/2



# OPEN オープンユニオン 岐阜大学職員組合ニュース UNION



岐阜大学職員組合発行

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1  
Tel. 内線 9552 Fax 058-230-1118  
E-mail: kumiai@gifu-u.ac.jp  
HomePage: 岐阜大学職員組合 (検索)

## 第35期中央役員選挙・信任投票の結果

岐阜大学職員組合第35期中央役員選挙の信任投票は7月27日に終了し、31日に開票を行いました。

その結果、下記のような信任率となり、選挙規定12条及び14条により候補者全員が信任されましたことを報告いたします。

投票率 58.4%

(教育：62.0%、地域：46.3%、応生：65.5%、工：81.5%、病・直：21.4%)

役 職	候 補 者	信任	白票	無効
中央執行委員長	新村 昌治	98.9%	1.1%	0.0%
中央執行副委員長	巽 徹	98.9%	1.1%	0.0%
中央書記長	柴田 和宏	98.9%	1.1%	0.0%
中央書記次長	酒向 隆司	100.0%	0.0%	0.0%
中央執行委員 (五十音順)	神谷 宗明	98.9%	1.1%	0.0%
同	齋藤 正一郎	100.0%	0.0%	0.0%
同	武野 明義	98.9%	1.1%	0.0%
同	山本 政幸	98.9%	1.1%	0.0%
中央会計監査委員	椎名 貴彦	100.0%	0.0%	0.0%
同	今村 光章	98.9%	1.1%	0.0%

2018年7月31日

岐阜大学職員組合第34期中央役員選挙  
中央選挙管理委員会

## 全大教定期大会に参加して

岐阜大学職員組合の書記次長の三谷です。7月7日(土)と8日(日)に第51回全国大学高専教職員組合定期大会に参加してきましたので、ご報告いたします。

大会では、概ね、全大教の中執からの情勢認識→2017年度の取り組み報告→2018年度運動方針→予算決算等の順で議論が進みました。同時に各単組代表からこの中執の提案について、活発な議論がありました(中には変なもの)。

提案された運動方針は、1) 大学・高等教育機関の「選択と集中」への反対、2) 一人複数大学方式など、政府・文科省による一方的な高等教育再編や地方大学切り捨てを許さない、3) 教員身分の不安定化反対、4) 奨学金制度の抜本的な拡充等「教育を受ける権利」の実現、5) 民主的で公正な大学運営の実現と、法人の自主的な人事制度確立、です。私たちとしては、2) 3) 5) が特に気になるところでしょうか。

例えば全大教からは、2) については将来的に部局間の統廃合もあり得るという前提で注視していくこととし、3) については、たとえば有期雇用職員の無期転換などは各大学でバラバラの対応がなされていること及び成功事例の共有を図ること等が示されていました。5) は文科省から重要ポストに出向してくる者への注視や、すさまじい勘違いをして権限行使をしている学長とその学長主導のガバナンスについて言及がありました(福岡教育大学の代表から、組合活動への不当労働行為を裁判で認定されてもそれを無視する学長の諸行動について報告もあり)。これらの提案とそれに付随する質疑応答を聞いて、本学はまだまだマシだなあと思う反面、少し油断すると福岡教育大学のようにも思いました。などなど、いろいろと各大学の取り組みには参考になるものが多いように思いました。

ただ、今回の大会では中執の示す運動方針を承認するだけです。岐阜大学の抱える諸問題について、全大教の中央執行委員会に期待するだけ、あるいは待ちの姿勢では何らの問題解決には至らないことも再確認できました。他大学や全大教は情報提供や必要な支援はあるかもしれませんが、まずは岐阜大学の問題は岐阜大学の職員の力でなんとかする必要があるようです。

そうはいつても、それぞれのテーマをどのように解決するのか(方法論)については、各単組も手探りの状況のようです。手法・方法論についての意見交換の場として、9月14～6日に岡山大学で開かれる「大学」・高等教育の未来～加速する政府主導の大学改革を超えて」という教職員研究集会があります。ここでの議論がヒントを与えてくれるかもしれません。

全大教の大会の情報は全大教からニュースがでるのでそれをご覧ください。